

LOWRANCE®

Recon™

インストレーション マニュアル
日本語



lowrance.com

著作権

© 2024 Navico Group 全著作権所有。

Navico GroupはBrunswick Corporationの一部門です。

商標®

米国特許商標庁登録商標、™は一般法上の商標です。Navico Groupおよびその他の法人に関するグローバルな商標権と認証については、www.navico.com/intellectual-propertyをご覧ください。

Navico®はNavico Groupの商標です。

Lowrance®はNavico Groupの商標です。

Simrad®はKongsberg Maritime ASの商標で、Navicoにライセンスされています。ActiveTarget®はNavico Groupの商標です。

FreeSteer™はNavico Groupの商標です。

Ghost®はNavico Groupの商標です。

Recon™はNavico Groupの商標です。FlipSwitch™はNavico Groupの商標です。HDS®はNavico Groupの商標です。

NSO™はNavico Groupの商標です。

NSS®はNavico Groupの商標です。

NSX®はNavico Groupの商標です。

Quicksilver®はBrunswick Corporationの商標です。

Bluetooth®はBluetooth SIG, Incの商標です。

SD®およびmicroSD®はSD-3C, LLCの商標です。

NMEA®およびNMEA 2000®はNational Marine Electronics Associationの商標です。Power-Pole®はJL Marine Systems, Incの商標です。

QRコード®はDenso Wave Incorporatedの商標です。

保証

本製品の保証については、別途提供される文書をご覧ください。

安全性、免責事項、コンプライアンス

本製品の安全性、免責事項、コンプライアンスに関する記載は、別途提供される文書をご覧ください。

詳細情報

文書バージョン：001この文書はソフトウェアバージョン1.0を使用して作成されました。本ガイドに記載および図示されている機能は、ソフトウェアの継続的な開発により、実際のユニットと異なる場合があります。最新の文書バージョンや他の関連資料については、以下のリンクからご確認ください：www.lowrance.com/downloads/recon をご覧ください。

目次

4 はじめに

4 同梱品 (淡水モデル)

5 同梱品 (海水モデル)

6 構成品

8 シリアル番号の記録

8 製品の登録

9 インストレーション

9 必要な工具

9 取付ガイドライン

9 クイックリリースブラケット

10 プロペラの取り付け

11 ボートにトローリングモーターを取り付ける

16 カムロック デブスカラーの開く方向を変更する (オプション)

17 交換可能なノーズコーン振動子

17 アクセサリー取り付けポイント

17 フットペダルに電池を挿入する

18 フットペダルからロワーキーモジュールを取り外す (オプション)

19 フットペダルに電源ケーブルを接続する (オプション)

21 フットペダルのモメンタリースイッチを切り替える (オプション)

22 フットペダルをボートに取り付ける (オプション)

22 リモコンに電池を挿入する

23 配線

23 配線ガイドライン

24 バッテリーの推奨事項

24 バッテリーの注意事項

24 配線の推奨事項

25 システム例

26 トローリングモーターをバッテリーに配線する

27 フットペダルをバッテリーに配線する (オプション)

27 トローリングモーターをネットワークに接続する

28 トローリングモーターをソナーディスプレイに接続する

28 ソナーの干渉を減少させる

29. 寸法

29 トローリングモーター

30 フットペダル

31 リモコン

32 技術仕様

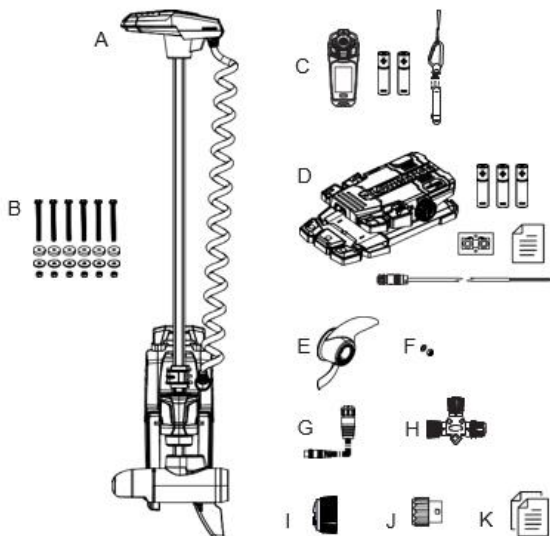
はじめに

⚠ **警告:** 本製品は、提供された取扱説明書に従って取り付けおよび操作する必要があります。

これを守らない場合、身体的な負傷、船舶の損傷および/または製品の性能不良を引き起こす可能性があります。
適切な取り付けには、海洋電気システムに関する専門的な知識が必要です。

⚠ **警告:** トローリングモーターを塩水または汽水で使用する予定がある場合は、プロペラのプロペラナットの上に犠牲アノードを取り付ける必要があります。犠牲アノードなしで塩水または 汽水で使用した場合、保証は無効となります。

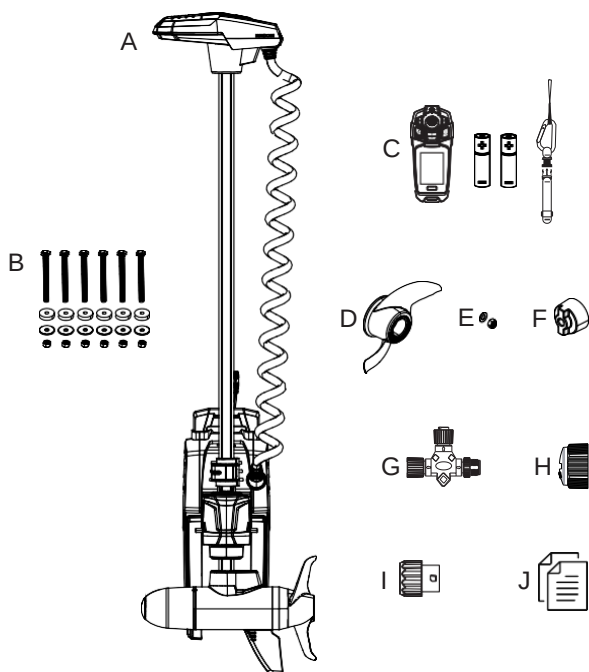
同梱品 (淡水モデル)



- A. HDIノーズコーン付きRecon トローリングモーター (格納状態)
- B. Recon トローリングモーター取付ハードウェアキット (ステンレス製六角ボルト 6本 (1/4"-20 x 3")、ラバー Spacer 6個、ワッシャー 6個、真鍮ナット 6個)
- C. FreeSteer ジョイスティックリモコン (アルカリ性 AA電池 2本、ラニヤード付き)
- D. アドバンスド ワイヤレスフットペダル (アルカリ性 AA電池 3本、12V電源ケーブル 1本、3Aヒューズ 1個、取扱説明書)
- E. Recon ウィードレス 2枚プロペラ
- F. プロペラ ハードウェアキット (真鍮製 M10 ナイロックナット 1個、ワッシャー 1個)
- G. ソナーケーブルアダプター (ミニ9ピンから9ピン)
- H. NMEA 2000® Tコネクタ
- I. NMEA2000ケーブルコネクタ用ダストキャップ
- J. ソナーケーブルコネクタ用ダストキャップ
- K. 取扱説明書バック (トローリングモーターおよびリモコン用)



同梱品 (海水モデル)

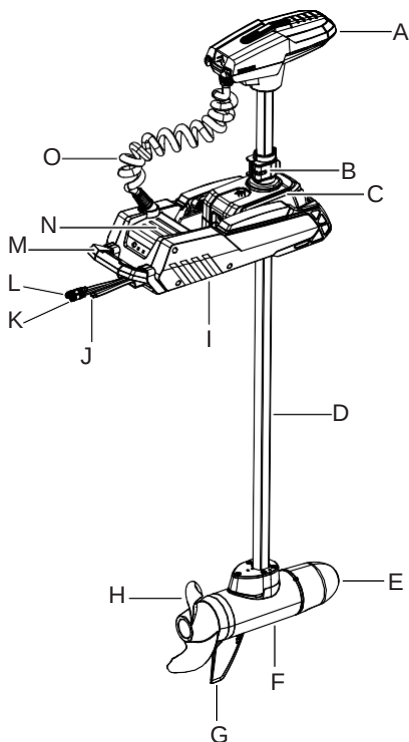


- A. 振動子なしノーズコーン付きRecon トローリングモーター (格納状態)
- B. Recon トローリングモーター取付ハードウェアキット (ステンレス製六角ボルト 6本 (1/4"-20 x 3")、ラバー スペーサー 6個、ワッシャー 6個、真鍮ナット 6個)
- C. FreeSteer ジョイスティックリモコン (アルカリ性 AA電池 2本、ラニヤード付き)
- D. Recon ウィードレス 2枚プロペラ
- E. プロペラ ハードウェアキット (真鍮製 M10 ナイロックナット 1個、ワッシャー 1個)
- F. プロペラシャフトアノード
- G. NMEA 2000® Tコネクター
- H. NMEA2000ケーブルコネクター用ダストキャップ
- I. ソナーケーブルコネクター用ダストキャップ
- J. 取扱説明書バック (トローリングモーターおよびリモコン用)



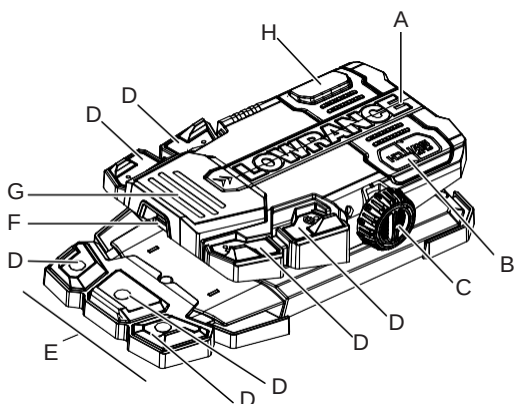
構成品

Recon トローリングモーター(展開時)



- A. ヘッド
- B. カムロック デブスカブラー
- C. ステアリングトランスミッション
- D. コラム
- E. ノーズコーン
- F. ロワーユニット
- G. スケグ
- H. プロペラ
- I. マウント
- J. 電源ケーブル
- K. ソナーケーブル
- L. NMEA 2000ケーブル
- M. 格納/展開 リリースレバー
- N. マウントコントロールボード
- O. コイルケーブル

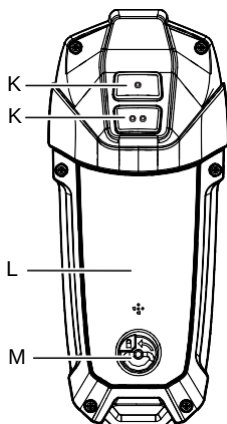
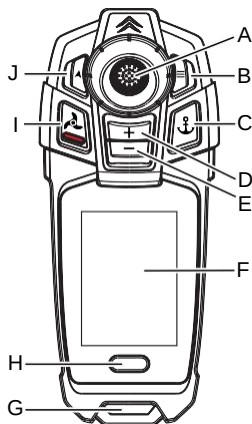
フットペダル



- A. トウ部
- B. バッテリーコンパートメント
- C. 速度調整ノブ
- D. モード/アクションキー
- E. 取外し可能なロワーキーモジュール
- F. 電源ON/OFF
- G. ヒール部
- H. モメンタリースイッチ



リモコン



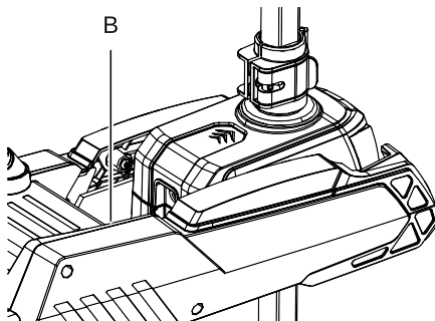
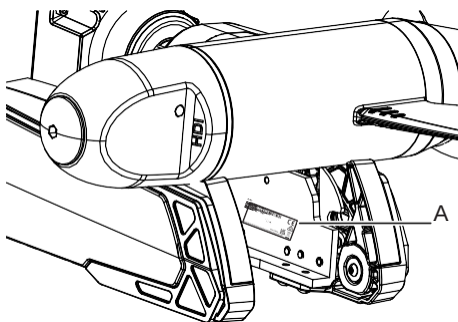
- A. ジョイスティック
- B. 電源ON/OFF メニュー
- C. アンカーロック ON/OFF
- D. スピードアップ
- E. スピードダウン
- F. LCDディスプレイ
- G. ラニヤード取付部
- H. インモード ソフトキー
- I. プロペラON/OFF / 全てキャンセル
- J. オートパイロット ON/OFF
- K. プログラム設定可能キー
- L. バッテリーカバー
- M. バッテリーカバーロック



シリアル番号の記録

今後、必要な時のために、シリアル番号およびモデル番号を記録しておくことをお勧めします。

トロローリングモーターには、シリアル番号が記載された2つのラベルが付属しています。一つはマウントの内側にあり、トロローリングモーターが格納されている状態で簡単にアクセスできます (A)。もう一つはステアリングトランスミッションの後ろの凹部にあり、トロローリングモーターが展開されている状態で簡単にアクセスできます (B)。



製品の登録

以下のQRコード®をスキャンして、お使いのReconトロローリングモーターのWEB保証登録を実施してください。



Lowrance WEB保証登録

まだLowranceアプリをお持ちでない場合、QRコード®をスキャンすると、お使いのデバイスのアプリストアに誘導され、ワンクリックでアプリをインストールし、アカウントを作成してトロローリングモーターの登録を開始することができます。その後、トロローリングモーターが設置され、電源が入ってベアリングモードになった状態で (詳しい手順についてはRecon操作マニュアルを参照)、モバイルアプリが自動的にトロローリングモーターとBluetooth®で接続し、シリアル番号を保存して登録プロセスを完了します。Lowrance®モバイルアプリを使用すると、トロローリングモーターの設定にアクセスしたり、モーターのステータスを確認したり、診断エラーコードやその説明を表示したりできます。

⇒ 注意：トロローリングモーターは1つのモバイルアプリアカウントにのみ登録できます。



インストール

必要な工具

- フィリップスドライバー #2
- 電動ドリル
- 8 mm (5/16インチ) ドリルビット
- 17 mm (11/16インチ) ディープソケット
- 11 mm (7/16インチ) ディープソケット
- 11 mm (7/16インチ) レンチ
- 9.5 mm (3/8インチ) ラチェット

⇒注意：Advancedワイヤレスフットペダルの取り付け用ハードウェアは含まれていません。

もしお使いのトローリングモーターにフットペダルが付属しており、それをボートのデッキに取り付ける場合は、お使いのポートと取り付け方法に適した取り付け用ハードウェアを別途ご用意ください。直径3.17～4.76 mm (1/8インチ～3/16インチ) のネジが必要です。可能であれば、#10のセルフタッピングスクリューを推奨します。

取付ガイドライン

△ 警告：トローリングモーターの部品は、ボートの操作、発進、または回収に支障をきたす場所には取り付けないでください。

- トローリングモーターは、ナビゲーションおよびオートパイロット機能が正常に動作するように、ボートの船首に取り付けてください。
- トローリングモーターは、ポート側、中央、またはスターボード側に取り付け可能です。
- 取り付け場所の下に穴を開けるためのスペースを確保し、ナットやワッシャーを取り付けてください。前方の取り付けボルトが船体を貫通しないことを確認してください。
- 収納時は、モーターのヘッドがボートのガンウェイ内に収まるようにしてください。
- 展開時には、コラムとボートのガンウェイとの間に最低38.1 mm (1.5インチ) の隙間が確保されていることを確認してください。
- 展開時には、取り付け部分と船首との間に最低102 mm (4インチ) の隙間を確保することを推奨します。これにより、急なスロープで積み下ろしを行う際に、トローリングモーターと船首ローラーが干渉しないようにします。
- モーターは、水面に下ろす（展開する）またはボートに上げる（収納する）際に障害物に当たらないように取り付けてください。

クイックリリースブラケット

クイックリリースブラケットは、Reconトローリングモーターをボートから素早く簡単に取り外すためのアクセサリとして販売されています。クイックリリースブラケットを取り付ける予定がある場合は、トローリングモーターの取り付けに進む前に、ブラケットに付属するインストールガイドを参照して、取り付け手順を確認してください。



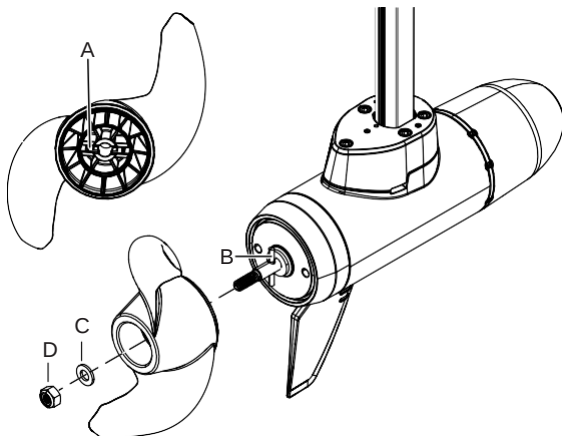
プロペラの取り付け

⇒注意：プロペラは、トロローリングモーターをボートのデッキに取り付けた後に取り付けても構いません。

1. プロペラシャフトのねじ部分からグリースやゴミをきれいに取り除いてください。

⇒注意：真鍮製のプロペラナットを使用する場合、アンチシースコンパウンドは必要ありません。

2. プロペラ (A) のスロットを、下部ユニット (B) のピンと合わせてください。



3. プロペラを下部ユニットに取り付けます。
4. 付属のワッシャー (C) と真鍮製M10ナイロックナット (D) を使用して、プロペラを固定します。
5. 17 mm (11/16インチ) のディーブソケットを使用して、ナットを9 Nm (6.6 lb-ft) のトルクで締め付けます。

⚠ 警告： プロペラナットを取り付ける際には電動工具を使用せず、過剰に締め付けしないでください。
過剰に締め付けると、プロペラやプロペラピンに損傷を与える可能性があります。

- 6 海水用のReconトロローリングモーターをお持ちで、塩水または汽水域で使用する予定がある場合は
付属のプロペラシャフトアノードを真鍮製プロペラナットの上にねじ込んで取り付けてください
⇒ 注意：プロペラシャフトアノードは別売のアクセサリとしても販売されています。

⚠ 警告： アノードは、トロローリングモーターの金属部品がガルバニック腐食から保護されるよう、アノード自身の金属を犠牲にしてゆっくりと腐食させます。アノードは定期的に点検する必要があり、特に塩水では腐食が加速するため、注意が必要です。この腐食保護を維持するためには、アノードが50%以上腐食している場合は交換してください。アノードに塗料や保護コーティングを施さないでください。これにより、アノードの効果が減少します。

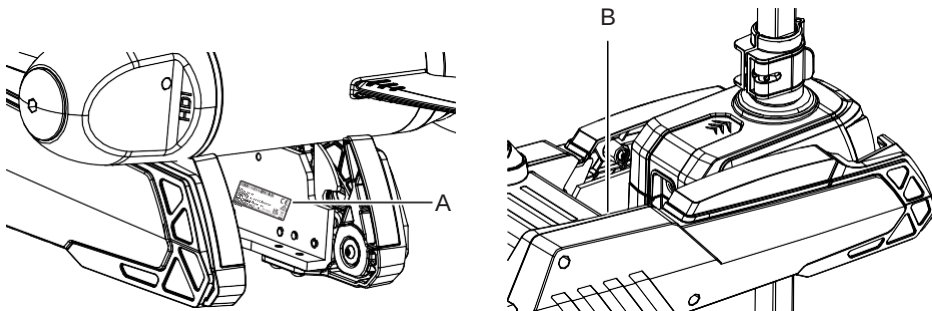


ボートにトローリングモーターを取り付ける

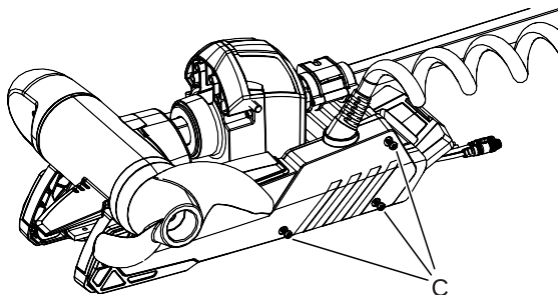
⚠ **警告：** ヒンジやピボットポイントなどの可動部は、重大な怪我を引き起こす可能性があります。モーターを収納、展開、または傾ける際は、可動部から離れてください。

1. まだ行っていない場合は、トローリングモーターのシリアル番号を記録してください。

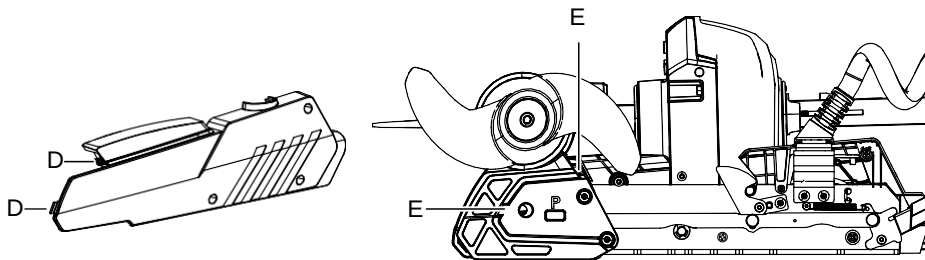
シリアル番号ラベルは、マウントの内側 (A) と、ステアリングトランスミッションの後ろの凹み部分 (B) にあります。



2. マウント (C) の両側にあるサイドプレートのネジを緩めてください。ネジはワッシャーで保持されています。



3. マウントの両側からサイドプレートを取り外してください。取り外す際には、定位タブ (D) がスロット (E) から外れる際に損傷しないよう注意してください。



4. ボートにトローリングモーターを交換する場合：

- a 既存の取り付け穴が新しいマウントと一致するか確認してください。
- b 取り付け場所が取り付けガイドラインに適合していることを確認してください (9ページを参照)。
- c 新しい穴が不要な場合は、15ページのステップ11に進んでください。

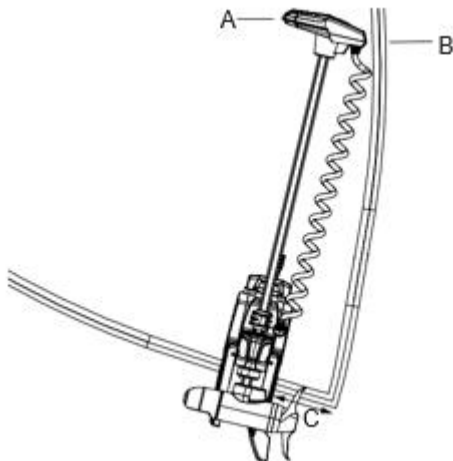


5. トローリングモーターを所定の位置に保持し、ボートのデッキ上で取り付けガイドラインに適合する場所を慎重に選んでください（9ページを参照）。

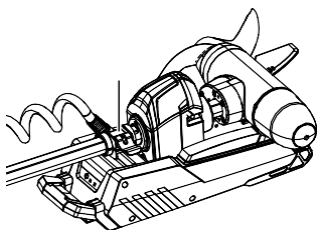
⇒注意：取り付けテンプレートが提供されており、ガンウェイルの縁に合わせてトローリングモーターのコラムとガンウェイルとの間に正しい隙間を確保できるようになっています。

6 トローリングモーターが収納位置にある際、ヘッド（A）がボートのガンウェイル（B）から外に突出していないか確認してください。もし突出している場合は、マウントの位置を調整してください。

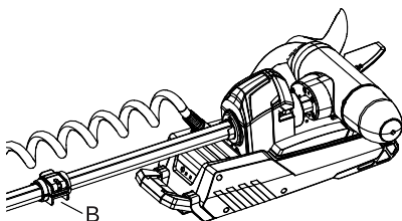
⇒注意：また、トローリングモーターと船首ローラーが急なスロープで積み下ろしを行う際に干渉しないよう、取り付け部分と船首（C）との間に最低102 mm（4インチ）の隙間を確保することを推奨します。



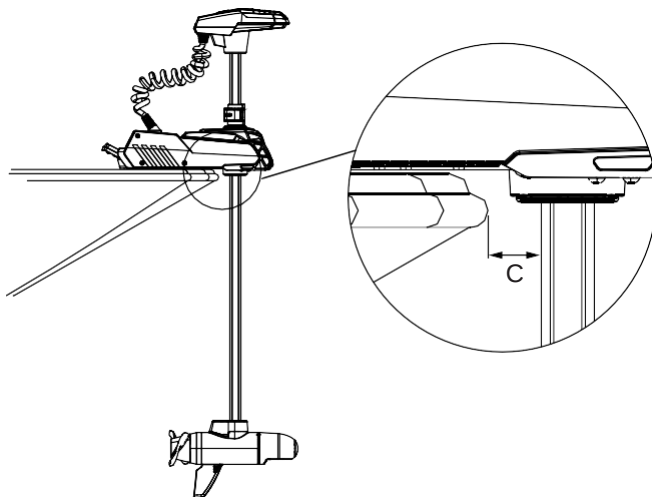
7 . トローリングモーターを展開した際に、コラムとボートのガンネルの間に十分な隙間が確保されていることを確認するために：a. カムロックデブスカラー（A）のタブを折り返して、ロックを解除してください。



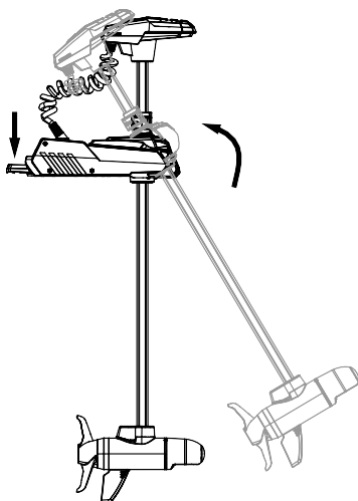
b. カムロックデブスカラーをトランスミッションからスライドさせ、コラム（B）の途中で再度ロックしてください。



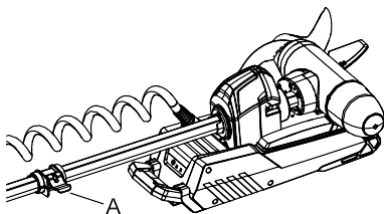
- c. トローリングモーターのヘッドを持ち、収納/展開リリースレバーを押し下げます。
- d. トローリングモーターを前方にスライドさせ、クレードルから取り出します。下部ユニットの重さにより、
- e. トローリングモーターとトランスミッションが下向きにピボットします。
- f. モーターが垂直になると、コラムのロックされたカムロック深さカラーがモーターのさらなる降下を防ぎます。
- g. コラムを引いて、展開位置にしっかりとロックされていることを確認します。
- h. コラムとボートのガンウェイル（C）の間に最低38.1 mm（1.5インチ）の隙間があるか確認してください。
- i. もし隙間がない場合は、マウントの位置を調整してください。



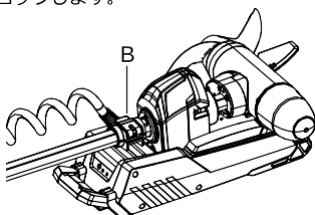
8. トローリングモーターを再度収納し、取り付けを続けるためには：
 - a トローリングモーターのヘッドを持ち、収納/展開リリースレバーを押し下げます。
 - b トローリングモーターを引き戻します。



- c. 下部ユニットがマウントクレードルと一致し、コラムが水平になったら、フットレバーを解除します。
これにより、下部ユニットを固定するマウントクレードルが作動します。
- d. カムロックデプスカラー (A) のロックを解除します。



- e. 解除したカムロック深さカラーをコラムに沿って下にスライドさせ、トランスミッション (B) に対してロックします。

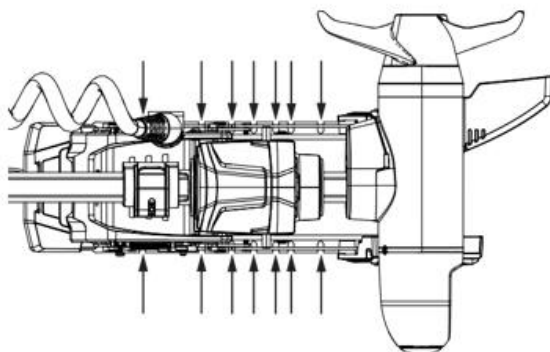


⚠ 警告 : ボートが進行中またはトレーラーに載せている際は、カムロックデプスカラーをトランスミッションにしっかりとロックすることを推奨します。

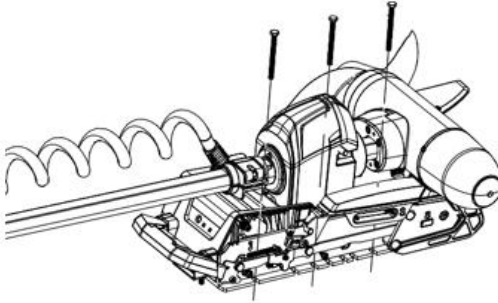
9. 取り付けブラケットをテンプレートとして使用し、取り付け穴の位置をマーキングしてください。

⇒注意：ブラケットの両側には7つの取り付け穴があります。24Vバッテリーシステム用にマウントを取り付ける場合、最低でも4本のボルト（マウントの両側に2本ずつ、できるだけ離して）を使用することを推奨します。36Vシステムの場合は、最低でも6本のボルト（マウントの両側に3本ずつ、できるだけ離して）を推奨します。

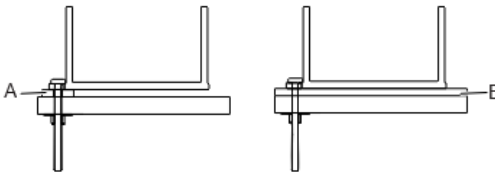
⚠ 警告 : 6本のボルトを取り付けることができない場合は、適切な長さの部分ねじボルト、ボートの取り付け面に硬い材質のバックプレート、そして横方向の力をできるだけ均等に分散させ、損傷のリスクを減らすために大きなフェンダーワッシャーを使用することを推奨します。



10. トローリングモーターをマーキングした取り付け位置から移動させてください。
11. 8 mm (5/16インチ) のドリルビットを使用して、デッキ上のマーキングした位置に穴を開けてください。
その際、切り屑を取り除いてください。
⇒注記：フィボグラスデッキのひび割れを防ぐため、カウンターシンクビットやより大きなドリルビットを使用して、取り付け穴をカウンターシンク加工すると効果的です。
12. 取り付けブラケットをデッキの穴に合わせてください。
13. ご使用のバッテリーシステムに応じて、付属のボルトを2本または3本、取り付け部の片側の開けた穴に
取り付けてください。



14. 各ボルトに付属のワッシャーと真鍮ナットを取り付けてください。ただし、まだ締め付けしないでください。
⇒注記：モーターを取り付ける場所がカーペットのないフィボグラス製ボートの場合は、ゴム製
スペーサー(A)をボートのデッキと取り付けブラケットの間に取り付けてください。
カーペットが施されたボートデッキ (B) の場合、ゴム製の絶縁スペーサーは必要ありません。

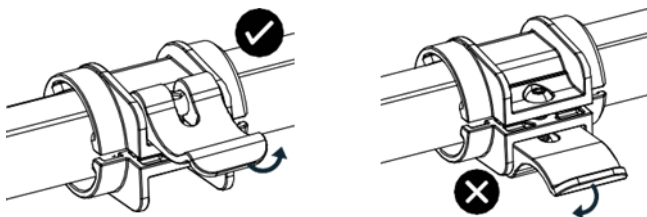


15. モーターのコラムを保持し、取り付けブラケットのボルトを外した側を持ち上げてください。
16. 取り付けを斜めに保持したまま、残りのボルトを取り付け穴に通して取り付けてください。
⇒注記：取り付けを斜めに保持することで、収納/展開解除機構からの干渉を減らし、ボルトの取
付けが容易になります。
17. コラムを元に戻し、取り付けブラケットが平らな位置に戻るようにしてください。
18. 残りのボルトにワッシャーと真鍮ナットを取り付けてください。ただし、まだ締め付けないで
ください。
19. トローリングモーターをデッキの取り付け穴にきちんと合わせてください。
20. 11 mm (7/16インチ) のレンチでボルトをしっかりと保持し、11 mm (7/16インチ) の
ディーブソケットまたは別の11 mm (7/16インチ) レンチを使って、デッキの下から取り付け
ブラケットの両側のナットを締めてください。
21. 側面のプレートを手元に戻し、位置決めタブを合わせ、ポートサイドをストレーンリリーフ周りに
位置付けてください。
22. 側面プレートのネジを再度締め直してください。



カムロック デブスカラーの開く方向を変更する (オプション)

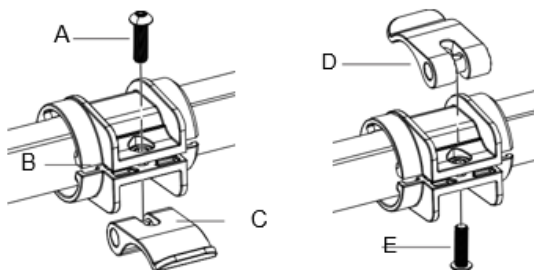
トローリングモーターのコラムにあるカムロックデブスカラーは、モーターが格納されている状態で、コラムの上面で開閉することをお勧めします。



カムロックデブスカラーがコラムの下側から開く場合、次の手順で調整してください：

⇒**注記**：この手順を行うには、トローリングモーターが格納されている必要があります。

1. 部品が落ちた場合に転がらないように、トローリングモーターのコラムの下にタオルを敷いてください。
- 2 5/32インチ (4mm) の六角レンチで、カラー (B) を固定しているデブスカラーのネジ(A) を取り外します。
- 3 ロックレバー (C) をカラーから外します。ロックレバーの内部にあるメタルバレルをなくさないように注意してください。



- 4 ロックレバー (C) を180°回転させ、メタルバレルを内部に入れたまま、コラムの上面 (D) にセットします。
- 5 1.7 Nm (1.3 lb-ft) のトルク値でカラーの下側からボルトを取り付けます(E)。
- 6 使用前に、カラーがトローリングモーターのコラムにしっかりとロックできることを確認してください。

⇒**注記**：カムロックデブスカラーは、レバーが閉じられているときにスライドせず、レバーが完全に開いているときには自由にスライドできます。カムロックデブスカラーをスライドさせる際は、開いたロックレバーではなく、カラーを持ってスライドさせてください。

7. カラーの締め具合を調整するには、ロックレバーを閉じ、デブスカラーのボルトを1/4回転ずつ回し、調整後に問題がないかテストを行ってください。

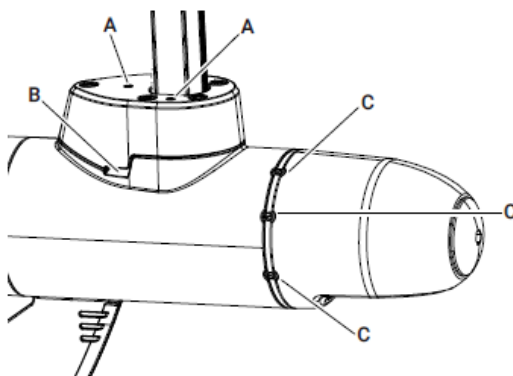


交換可能なノーズコーン振動子

Reconの淡水用トロリングモーターには、すでにRecon HDIノーズコントランスデューサーがロワーユニットに取り付けられています。これを、CHIRPソナーと高解像度のダウンスキャンおよびサイドスキャンを搭載したRecon 3-in-1アクティブイメージングノーズコントランスデューサーにアップグレードすることができます。Reconの海水用トロリングモーターには、交換可能なノーズコーンにソナーは装備されていません。最新のアクセサリオプションおよび互換性については、www.lowrance.com/recon-trolling-motor をご確認ください。

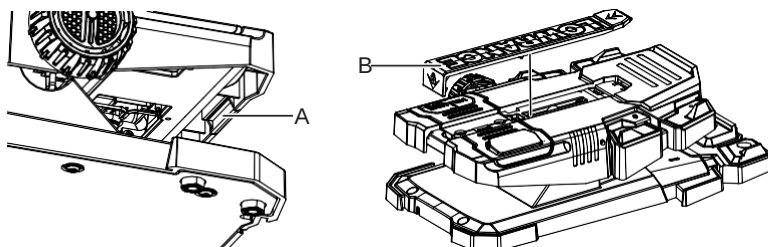
アクセサリ取り付けポイント

Reconのロワーユニットには、互換性のあるアクセサリを取り付けるための複数の取り付けポイントがあります。ロワーユニットタワーの上部には3つのネジ取り付けポイント (A) があり (図には2つのみ表示)、また、ホースクランプアクセサリ用の通孔 (B) もあります。さらに、ノーズコーンとロワーユニットの間には、アクティブターゲットやアクティブターゲット2などのライブソナートランスデューサーを取り付けるための3つの取り付け場所 (6つの取り付けポイント) があります。この画像には、6つのトランスデューサー取り付けポイントのうち3つが示されています (C)。各側面には2つ (前方および下方向用)、上部には2つ (スカウトビュー用) が設置されています。



フットペダルに電池を挿入する

1. センタークリップロックタブ (A) を引き、センタークリップ (B) を持ち上げて外してください。

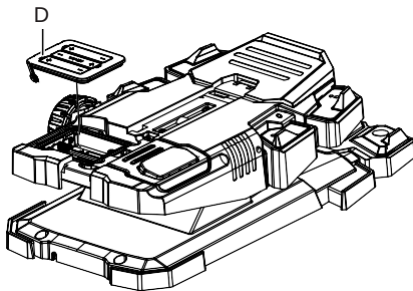
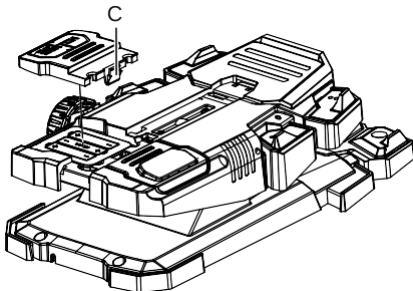


2. フリップスイッチロックタブ (C) を押して、フリップスイッチカバーを取り外してください。

3. ゴム製バッテリーコンパートメントカバー (D) を取り外してください。

⇒注：ゴム製カバーには、一隅に小さな保持ポストにループするデザーが付いています。

バッテリーを挿入する際には、デザーを使ってゴム製カバーを取り付けたままにすることをお勧めします。



4. 極性を確認し、付属のアルカリ単三電池を3本挿入してください。

⇒注：代わりにリチウム電池や充電式NiMH電池を使用することもできます。

5. ゴム製バッテリーコンパートメントカバーを元に戻し、しっかりと密閉されていることを確認してください。

6. フリップスイッチカバーとセンタークリップを元の位置にカチッと戻してください。

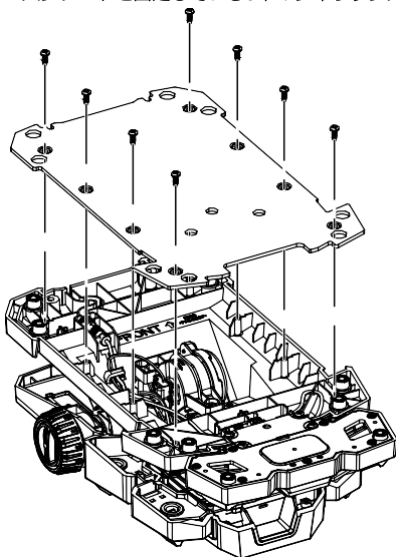
⇒注：フットペダルを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

フットペダルからロワーキーモジュールを取り外す（オプション）

アドバンスド ワイヤレスフットペダルには、追加機能を使えるように、最初からロワーキーモジュールがインストールされています。この機能を使用しない場合は、ペダルをポートデッキに取り付ける前にモジュールを取り外すことができます。

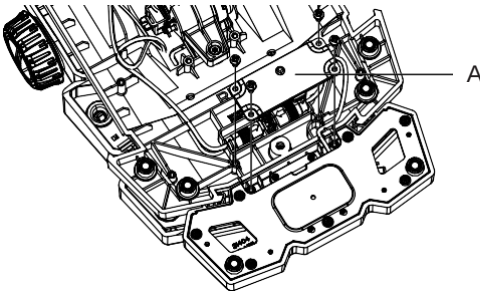
1. フットペダルを裏返してください。

2. ベースプレートを固定している8本のフィリップスネジを取り外し、ベースプレートを取り外してください。



3. ジョイナープレートを固定している4本のネジを取り外し、ジョイナープレート（A）を取り外してください。

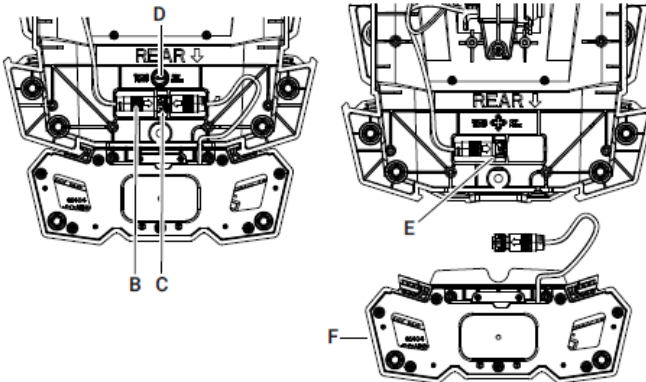
⇒注記：これでロワーキー モジュールはサポートがなくなり、コネクタのみで繋がっている状態になります。



4. 4ピンコネクタ（B）を、右側のコネクタのロック（C）を外して切り離してください。

5. 保護キャップ（D）をその台座から取り外し、露出した4ピンコネクタ（B）に取り付けてください。6. キャップを付けたペダルケーブルを、ペダルの裏側にある溝（E）に押し込んで固定してください。

7. ロワーキー モジュール（F）を押し下げて、ペダルの本体からスライドさせて取り外してください。



8. ベースプレートを元に戻し、8本のネジで固定してください。ネジは0.9 Nm（0.67 lb-ft）のトルクで締め付けてください。

⇒注記：プラスチック製のネジボスやファスナーの頭が滑らないように、締め付け時には電動工具を使用しないでください。

9. 下部キー モジュール、ジョイナープレート、ジョイナープレートのネジを、安全な場所に保管し、後でできるようにしてください。

フットペダルに電源ケーブルを接続する（オプション）

バッテリーではなく電源を直接接続するために、付属の12 V電源ケーブルをフットペダルに接続する手順です。

これにより、12 Vの電源が供給されるとペダルが自動的にオンになります。

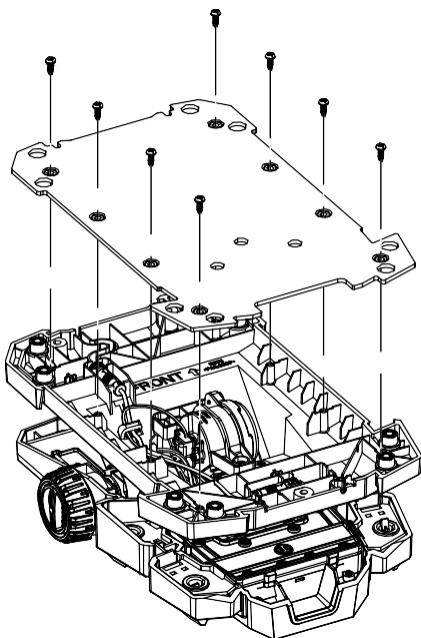
⇒注記：ペダルをボートデッキに取り付ける前に、この作業を完了させてください。

1. フットペダルのバッテリーコンパートメントから、3本のAA/バッテリー（もし入ってれば）を取り外すことをお勧めします。詳細については、ページ17をご参照ください。

2. フットペダルを裏返してください。



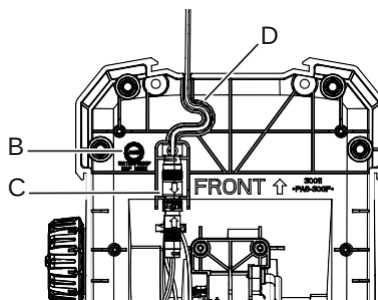
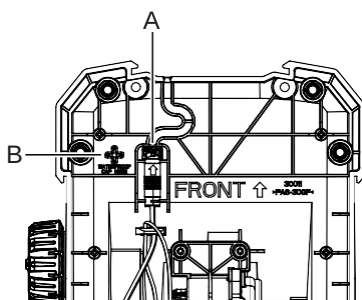
3. ベースプレートを固定している8本のフィリップスネジを取り外し、ベースプレートを取り外してください。



4. フットペダル内部から電源コネクタケーブル (A) を取り外し、防水キャップを取り外して、キャップを台座 (B) に保管してください。

5. 付属の12V、2ピン電源ケーブルをフットペダルのコネクタ (C) に接続し、ケーブルをペダルのストレインリリーフチャネル (D) に合わせて取り付けてください。

⇒注記：接続後、コネクタは最初に収納されていた位置よりもフットペダルの下方に配置されます。



6. ベースプレートを元に戻し、8本のネジで固定してください。ネジは0.9 Nm (0.67 lb-ft) のトルクで締め付けてください。

⇒注記：プラスチック製のネジボスやファスナーの頭が滑らないように、締め付け時には電動工具を使用しないでください。

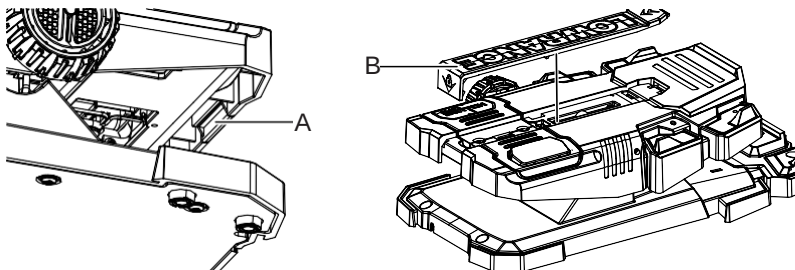
7. フットペダルの電源ケーブルの裸端をバッテリー供給に配線する方法については、27ページをご参照ください。



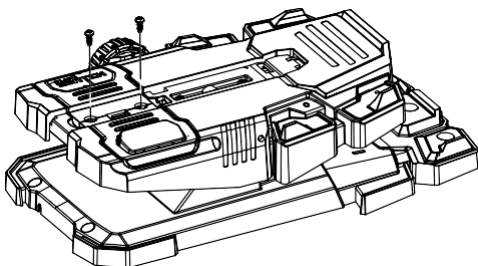
フットペダルのモメンタリースイッチを切り替える（オプション）

FlipSwitchを使うと、モーメンタリースイッチをペダルの左側または右側に配置することができます。

1. センタークリップロックタブ（A）を引き、センタークリップ（B）を持ち上げて外してください。

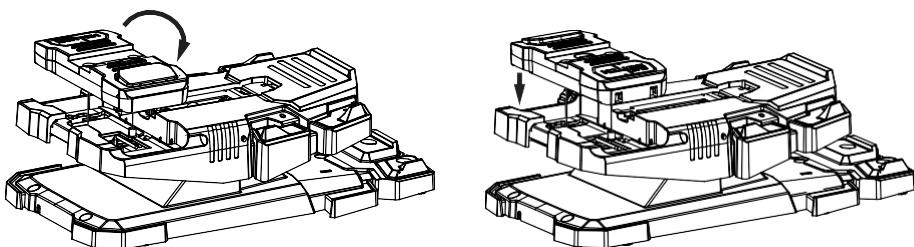


2. フリップスイッチ アセンブリーを固定している2本のフィリップスネジを取り外してください。



3. アセンブリを持ち上げて180°回転させます。ネジを再度取り付け、0.9 Nm（0.67 lb-ft）のトルクで締めてください。

⇒注：この作業を行う際には、FlipSwitchケーブルを過度な力で引っ張ったり、挟んだりしないように注意してください。



4. センタークリップを元の位置にカチッと取り付けてください。



フットペダルをボートに取り付ける（オプション）

⇒注記：取り付け用ハードウェアは付属していません。お使いのボートや取り付け方法に適した取り付けハードウェアを用意してください。ネジの直径は3.17～4.76 mm（1/8インチ～3/16インチ）のものを使用してください。

可能であれば、#10のセルフタッピングスクリューをお勧めします。

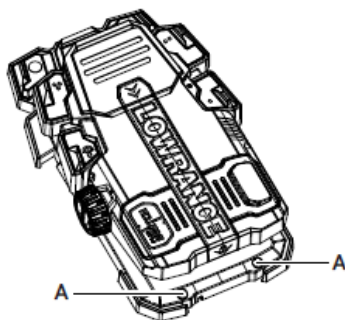
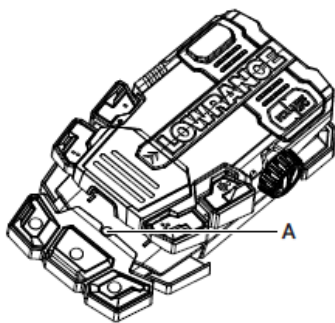
1. 最適なBluetooth®接続のために、トローリングモーターが見える範囲内の近くの位置にフットペダルを取り付けてください。

⇒注記：ワイヤレスペダルの最大運用範囲はトローリングモーターから25 m（80フィート）です。これは、障害物がない理想的な条件下での距離です。

2. フットペダル（A）の3つの取り付け穴を使用して、デッキにペダルを取り付けてください。

3. フットペダルの下にあるバンパーパッドを軽く圧縮する程度にのみネジを締めてください。

⇒注記：フットペダルの寸法については、29ページをご参照ください。



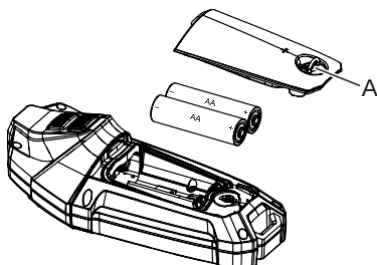
リモコンに電池を挿入する

1. ロックリング（A）を反時計回りに回して引き上げ、バッテリーカバーを取り外してください。

2. 極性を確認し、付属のAAアルカリ電池2本を挿入してください。

⇒注記：代わりにリチウム電池や充電式NiMH電池を使用することもできます。

⇒注記：リチウム電池やアルカリ電池以外のバッテリーを使用すると、リモコンの浮力に影響を与える可能性があります。



3. カバーを元に戻し、しっかりと密閉されていることを確認した上で、ロックリングを時計回りに回して締めてください。

⇒注記：リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。



配線

配線ガイドライン

⚠警告: 使用後およびバッテリーの充電時には、トローリングモーターを電源から切り離してください。

- トローリングモーターの電源としてメインエンジンのバッテリーを使用しないでください。
専用のトローリングモーターバッテリーまたはバッテリーバンクを使用してください。
- バッテリー端子の誤ってショートしないよう、バッテリーはバッテリーボックス内に収納し、
確実に固定してください。
- トローリングモーターケーブルは、他のボート配線とは反対側に配線してください。
- プラスおよびマイナスの配線は互いに束ねてください。
- ボートのアクセサリはメインエンジンまたはハウスバッテリーに直接接続してください。
- トローリングモーターバッテリーは、トローリングモーターが展開されている状態で充電しないでください。
- 深度計などの敏感な電子機器は、別のバッテリーに接続する必要があります。

以下のことは行わないでください

- ケーブルに急な曲げを加えないでください。
- ケーブルを水がコネクタに流れ込むような方法で配線しないでください。
- データケーブルをレーダー、送信機、大電流を流すケーブル、高周波信号ケーブル、ソナーケーブル、または
イーサネットケーブルの近くに配線しないでください。
- ケーブルが機械システムに干渉しないように配線してください。
- ケーブルを鋭利な縁やバリの上に配線しないでください。

以下のことを行ってください

- ドリッブループやサービスループを作成してください。
- すべてのケーブルにケーブルタイを使用して、ケーブルを固定してください。
- ケーブルを延長または短縮する場合、すべての配線接続をはんだ付けまたは圧着し、絶縁して
ください。
- 適切なワイヤーゲージを使用してください（ワイヤーの推奨については、ページ24をご参照ください）。
- 水が浸入する可能性を最小限に抑えるために、接続部はできるだけ高い位置に保ってください
- コネクタの隣に余裕を持たせ、接続を容易にしてください。

⚠警告: 設置を開始する前に、必ず電源を切ってください。

電源がオンのまま、または設置中に電源が入ると、火災、電気ショック、またはその他の重大な怪我が発生する
可能性があります。電源の電圧がユニットと互換性があることを確認してください。

⚠警告: 正の供給線（赤）は、必ず（+）DCに接続し、ヒューズまたはサーキットブレーカー（ヒューズの定格に
最も近いもの）を使用してください。



バッテリーの推奨事項

- あなたのRecon トローリングモーターは、24 V DCまたは36 V DCバッテリーシステムから電力を供給できます。
- 12 Vディープサイクル海洋バッテリーまたは12 Vリチウムバッテリーを直列接続することをお勧めします。
バッテリーの数は、トローリングモーターの電圧設定が24 Vまたは36 Vに設定されているかによって異なります。
複数のバッテリーを直列接続する場合は、バッテリータイプを混合しないでください。リチウムバッテリーを使用する場合は、リチウムバッテリーが直列接続できることを製造元に確認してください。
- 一般的に、アンペア時 (Ah) 定格や予備容量定格が高いディープサイクルバッテリーは、より長い運転時間と優れたパフォーマンスを提供します。
- 代替として、単一の24 Vまたは36 Vリチウム海洋バッテリーを使用できます。リチウムバッテリーが最大60 Aの放電電流でトローリングモーター用に互換性があることを製造元に確認してください。
- ワイヤーを端子に接続するためには、ステンレス製のナットを使用してください。ステンレス製のウィングナットを使用してワイヤーを固定すると、接続が緩くなることがあります。
- トローリングモーターバッテリーから深度センサーや魚群探知機に電力を供給しないでください。
電子機器をトローリングモーターバッテリーに接続すると、電氣的干渉が発生する可能性があります。
深度センサーや魚群探知機は、エンジンの始動バッテリーまたは電子機器アクセサリバッテリー (12 V) から電力を供給する必要があります。

バッテリーの注意事項

⚠ 警告: 作動中または充電中のバッテリーはガスを発生させ、これが引火して爆発する可能性があります。爆発により硫酸が噴出し、深刻な火傷を引き起こすことがあります。バッテリーを取り扱ったり、メンテナンスを行う際は、バッテリー周辺を換気し、保護具を着用してください。バッテリーを充電する際、各セル内で爆発性のガス混合物が形成されます。

バッテリーを充電する際、各セル内で爆発性のガス混合物が形成されます。このガスの一部はベントプラグの穴を通して逃げ、換気が不十分な場合、バッテリー周辺に爆発性の雰囲気形成する可能性があります。この爆発性ガスは、充電後数時間にわたってバッテリー内または周辺に残ることがあります。火花や炎がこのガスに引火すると、内部爆発を引き起こし、バッテリーが破裂することがあります。爆発を防ぐために以下の予防措置を守ってください：

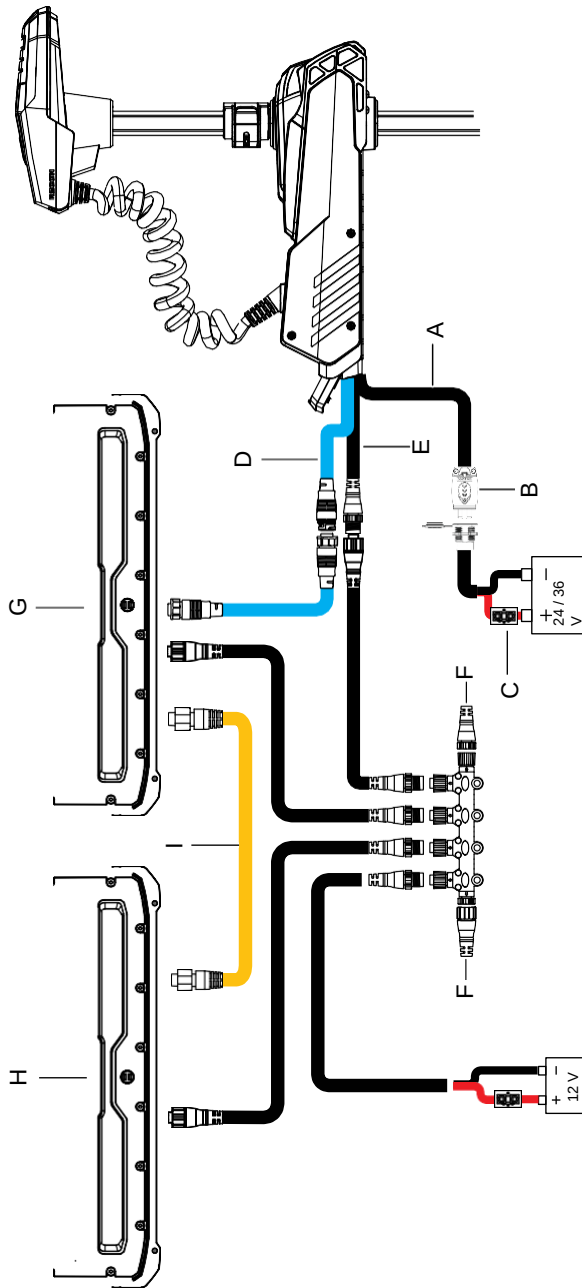
- 充電中のバッテリーや充電後のバッテリーの近くで火気を避け、喫煙をしないでください。
- トローリングモーターが稼働中に電源線を切断しないでください。回路が切断される際に通常火花が発生します。ケーブルクランプを接続または切断する際は、逆極性を避けるよう十分に注意してください。接続不良は電気アークの原因となり、爆発を引き起こすことがあります。
- バッテリー端子とケーブルの接続で極性を逆にしてしないでください。

配線の推奨事項

- 付属の電源ケーブルは長さ1.2 m (4フィート) で、ワイヤーサイズは8.5 mm² (8 AWG) です。
- 電源ケーブルを最大3 m (10フィート) 延長する場合、8.5 mm² (8 AWG) 以上のワイヤーを使用してください。
- 電源ケーブルを3 m (10フィート) 以上延長する場合、13.5 mm² (6 AWG) 以上のワイヤーを使用してください。
- トローリングモーターのプラス (+) ワイヤーとバッテリーの間に60 A手動リセット回路ブレーカーを取り付け、バッテリーから1.8 m (6フィート) 以内に設置してください。
- ジャンパーワイヤーは、電源ワイヤーと同じゲージで、長さは30 cm (12インチ) 以内にしてください。
- 配線を整理したり、トローリングモーターの取り外しを容易にするためにプラグとレセプタクルを取り付けたい場合、プラグとレセプタクルはどちらも60 Aの定格電流を持っている必要があります。電気接続部を腐食から保護するために、天候に強いプラグとレセプタクルを選んでください。



システム例



- A トローリングモーター電源ケーブル
- B 60A プラグとレセプタクル
- C 60A 回路ブレーカー
- D ソナーケーブル
- E NMEA 2000® ケーブル
- F NMEA 2000® 終端抵抗
- G 互換ディスプレイユニット (内蔵ソナー付き)
- H 互換ディスプレイユニット
- I イーサネットケーブル

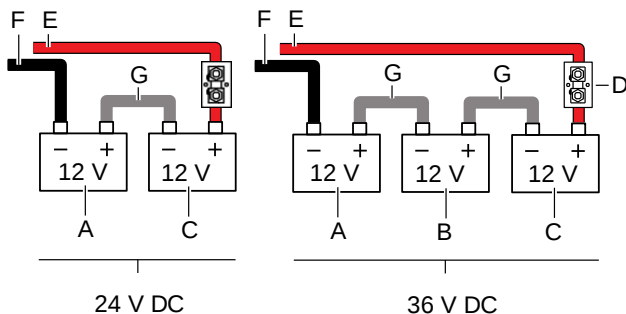


トロリングモーターをバッテリーに配線する

⚠ 警告: 電気システムのコンポーネントを取り扱う前に、バッテリーからワイヤーを切断して、誤って短絡を引き起こすことによる怪我や電気システムの損傷を防いでください。

⚠ 警告: ワイヤーを誤った順序で切断または接続すると、電気ショックによる怪我や電気システムの損傷を引き起こす可能性があります。常に最初に負 (-) のワイヤーを切断し、最後に接続してください。

⚠ 警告: トロリングモーターを推奨される電圧仕様範囲外で操作すると、製品に損傷を与える可能性があります。最大供給電圧を超えないでください。



- 1 トロリングモーターのプラス (+) ワイヤー (E) とバッテリーから1.8 m (6フィート) 以内に、60 A手動リセット回路ブレーカー (D) を直列に取り付けます。
- 1 トロリングモーターのプラス (+) ワイヤー (E) をトロリングモーターバッテリー (C) のプラス (+) 端子に接続します。
- 3 24 V回路の場合、トロリングモーターバッテリー (C) のマイナス (-) 端子からバッテリーAのプラス (+) 端子にジャンパーワイヤー (G) を接続します。
- 4 36 V回路の場合、トロリングモーターバッテリー (C) のマイナス (-) 端子からバッテリーBのプラス (+) 端子にジャンパーワイヤー (G) を接続し、さらにバッテリーBのマイナス (-) 端子からバッテリーAのプラス (+) 端子にもう1本のジャンパーワイヤーを接続します。
⇒注記: ジャンパーワイヤーは、マイナス (-) およびプラス (+) の電力ワイヤーと同じゲージで、長さは30 cm (12インチ) 以内になしてください。
- 5 トロリングモーターのマイナス (-) ワイヤー (F) をバッテリーAのマイナス (-) 端子に接続します。
⇒注記: 36 V回路と12 V回路の間に共通の接地接続ケーブルを接続しないでください。
6. トロリングモーターケーブルとバッテリー供給の間にプラグとレセプタクルを取り付けたい場合、ポートの構造が頑丈な垂直面を選び、プラグとレセプタクルに付属のインストールガイドを参照してください。
→ 注: プラグとレセプタクルは、どちらも60 Aの定格電流を持っている必要があります。



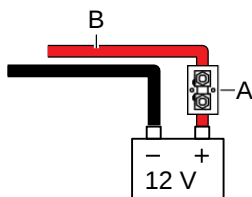
フットペダルをバッテリーに配線する (オプション)

フットペダルに電源をハードワイヤーで接続する場合、ペダルの電源ケーブルを12 V電源に接続できます。フットペダルのプラス (+) ワイヤー (B) に、付属の3 Aインラインヒューズ (A) を取り付けます。

12 V電源ケーブルの長さは2 m (6.56フィート) で、ワイヤーサイズは0.75 mm² (18 AWG) です。

電源ケーブルを最大3 m (10フィート) 延長する場合、0.75 mm² (18 AWG) 以上のワイヤーを使用してください。

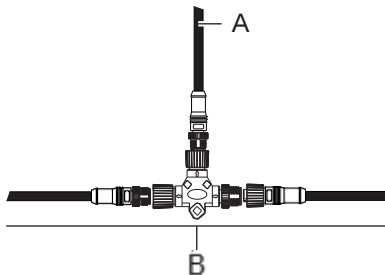
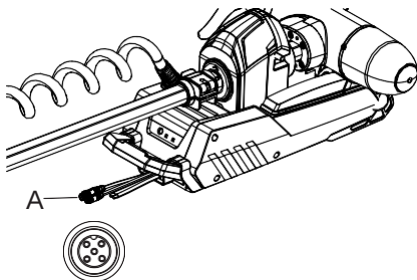
- ⚠ **警告:** フットペダルの電源ケーブルを12 V電源に接続する前に、選択した電源のブレーカーをOFFの位置にしてください。
- ⚠ **警告:** トローリングモーターの電源として使用している24 Vまたは36 Vのバッテリーシステムは使用できません。別途、12 Vの電源が必要です。



トローリングモーターをネットワークに接続する

トローリングモーターをボートのネットワークに接続するには、以下の手順を行います：

1. マウントの収納/展開解除レバーの下にあるトローリングモーターのNMEA®ケーブル5ピンコネクタ (A) を、付属のTコネクタ (B) を使用してNMEA 2000®バックボーンに接続します。



2. トローリングモーターをディスプレイユニットで操作する方法については、ディスプレイユニットの取扱説明書を参照してください。
 3. トローリングモーターのソフトウェアをディスプレイユニットから更新する方法については、ディスプレイユニットの取扱説明書を参照してください。
- ⇒ 注記: NMEA®ケーブルを使用しない場合は、付属のダストキャップをコネクタに取り付け、ピンを水分、ほこり、ゴミから保護してください。

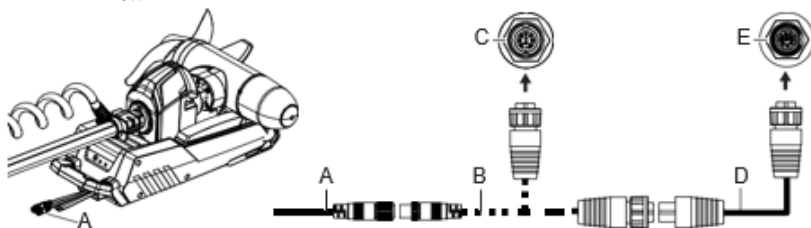


トローリングモーターをソナーディスプレイに接続する

この手順は、LowranceおよびSimrad®ソナー表示装置に対応した内蔵ソナーを備えたReconモデルにのみ適用されます。

1. 互換性のあるディスプレイユニットに以下のソナー入力がある場合：

- ・9ピンソナー入力の場合、付属のミニ9ピンから通常の9ピンアダプター（B）を使用して、トローリングモーターのソナーケーブル（収納/展開解除レバーの下にある）を互換性のあるディスプレイ（C）の背面のソナーポートに接続します。
- ・7ピンソナー入力の場合、9ピンから7ピンへのアダプターケーブル（D、別売り、SKU: 000-13977-001）を使用して、トローリングモーターのソナーケーブル（収納/展開解除レバーの下にある）を互換性のあるディスプレイ（E）の背面のソナーポートに接続します。



- 2 接続が完了したら、ディスプレイユニットの電源を入れて、ソナーケーブルが確実に接続されているか確認してください。
- 3 ソナー表示装置の使用方法や調整方法については、ディスプレイユニットの取扱説明書を参照してください。
⇒注記：ソナーケーブルを使用しない場合は、コネクタにダストキャップを取り付けて、ピンを水分、ほこり、ゴミから保護してください。

ソナーの干渉を減少させる

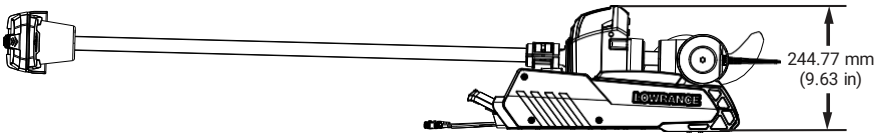
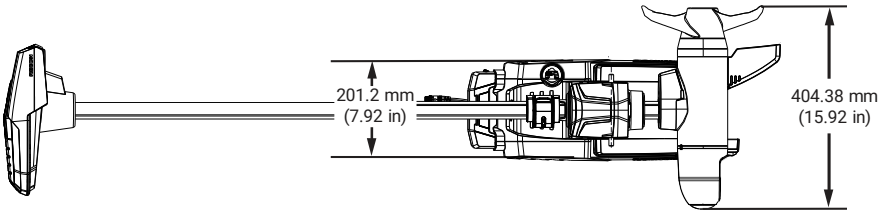
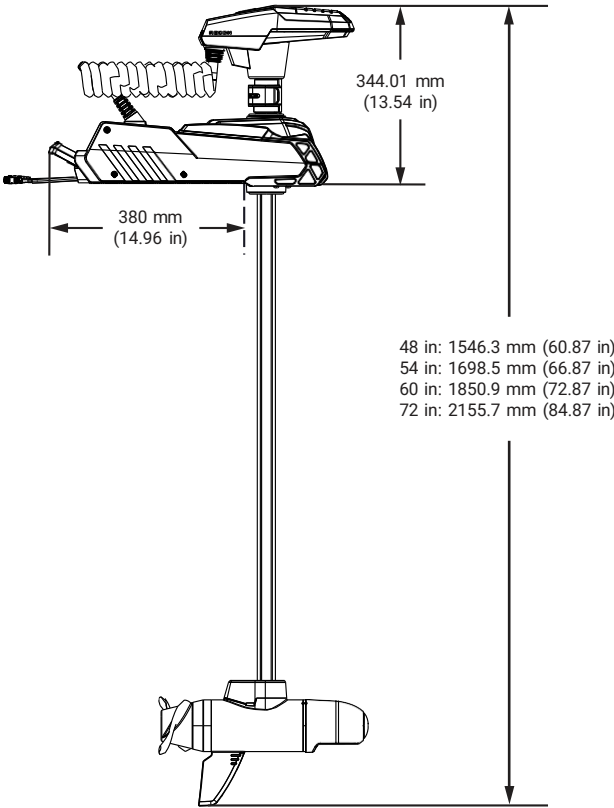
ソナーのパフォーマンスが低下している場合、以下の項目を確認してください。なお、ソナーのテストは安定した条件で水上で行ってください。

1. 別々のグラウンドを確保すること。トローリングモーターバッテリー（24 Vまたは36 V）とエンジン/アクセサリバッテリー（12 V）バンク間に共通のグラウンドがないことを確認してください。
2. トローリングモーターの電源ケーブルとソナー/電子機器ケーブルはできるだけ離して配置します。
例えば、電源ケーブルをポートサイドに、電子機器ケーブルをスターボードサイドに配置します。
3. トローリングモーターバンクとエンジン/アクセサリバッテリーバンクに接続されたマルチバンク充電器は、充電器の共通グラウンドを通じて干渉を引き起こす可能性があります。
4. ソナーケーブルに切れや損傷がないか確認します。内部でシールドが破損している場合も問題の原因となり、ゴム製の外装に圧痕や曲がり、平らになった部分がないか慎重に点検することで識別できます。
必要に応じて修理または交換してください。
5. 外部からの干渉源を確認し、それらを一時的に取り外すか無効化して、ソナーのパフォーマンスの改善をテストします。これには以下が含まれます：
 - ・イーサネットリンク
 - ・同じ周波数で動作する複数のソナートランスデューサー
 - ・その他のサードパーティ製の電子機器
6. ソナーのパフォーマンスが改善しない場合は、ディスプレイユニットメーカー、電子機器メーカー、またはポートディーラーに相談して、ポートの配線に関する他の問題を確認してください。

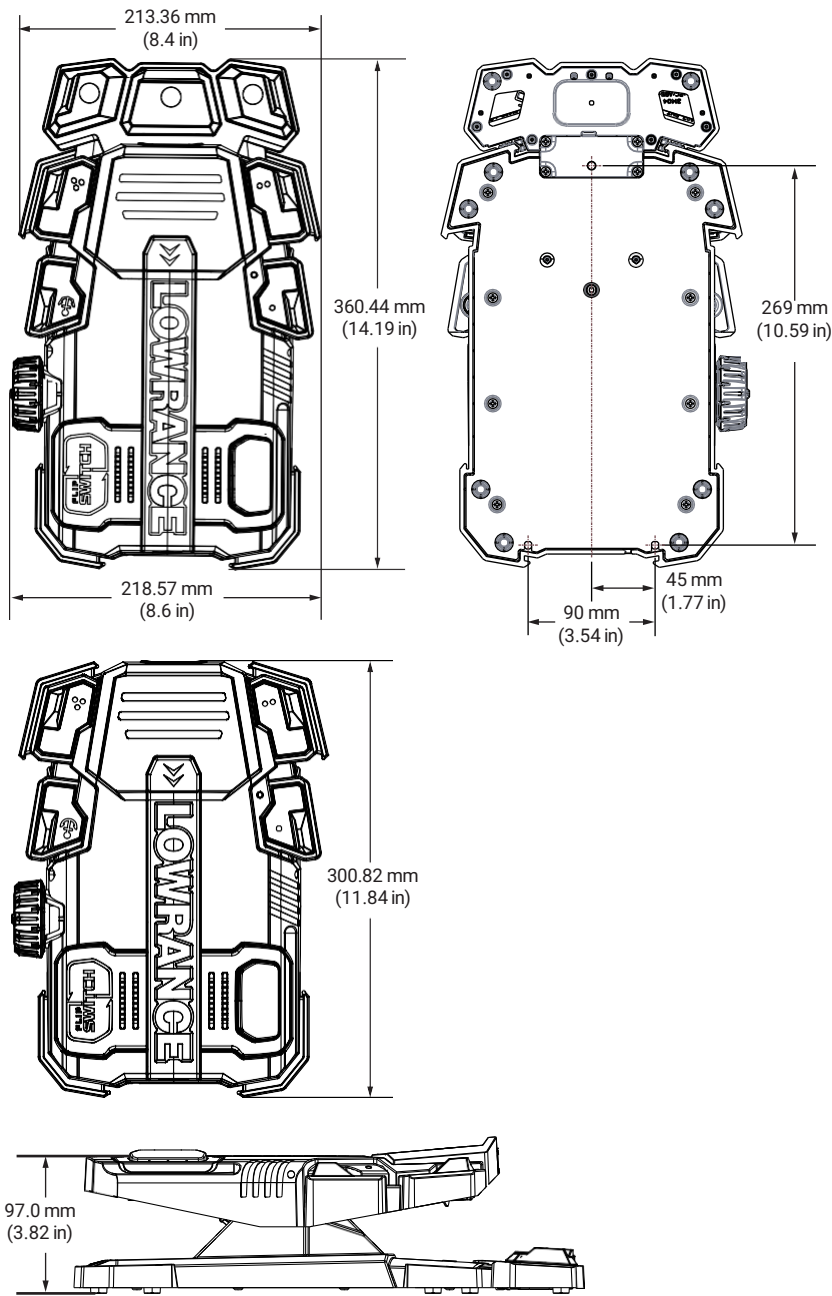


寸法

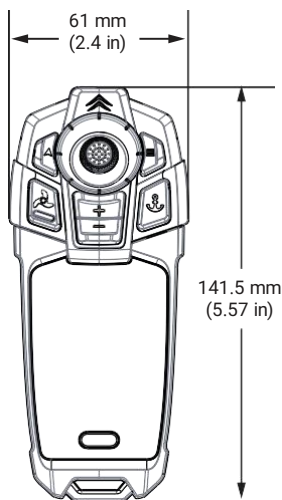
トローリングモーター



フットペダル



リモコン



技術仕様

Recon トローリングモーター	
動作温度範囲	−20°C to 60°C (−4°F to 140°F)
保管温度範囲	−40°C to 85°C (−40°F to 185°F)
供給電圧	24 V および 36 V 動作範囲 : 16 V to 46 V 12 V ディープサイクルマリンバッテリーまたは 12Vリチウムイオンバッテリー
最大電流消費	55 A RMS (24 V) 55 A RMS (36 V)
最小ヒューズ / ブレーカー定格	60 A (24 V) 60 A (36 V)
最大推力	90 lbs (24 V) 110 lbs (36 V)
重量 (HDIノーズコーン振動子付き)	48" −17.69 kg (39 lbs) 54" −19.05 kg (42 lbs) 60" −19.50 kg (43 lbs) 72" −19.95 kg (44 lbs)
シャフト長	淡水モデル : 48", 54", 60", 72" 海水モデル : 54", 60", 72"
マウントスタイル	ピボット式、電動ステアリング
ステアリング方式	リモコン、フットペダル、MFD
コンパス	内蔵
GPS	内蔵 ; 10Hz GLONASS, GNSS
接続性	NMEA 2000®, Bluetooth® 5.2

アドバンスト ワイヤレス フットペダル	
動作温度範囲	−20°C to 60°C (−4°F to 140°F)
保管温度範囲	−40°C to 85°C (−40°F to 185°F)
電源	3x 単三電池 12 V 電源ケーブル. 動作範囲 : 9 V to 18 V
ヒューズサイズ	3 A (12 V)
重量 (バッテリーなし)	□ ワークキーモジュール付 : 1.86 kg (4.1 lbs) □ ワークキーモジュールなし : 1.72 kg (3.8 lbs)
防水等級	IPX7
接続性	Bluetooth® 5.2 範囲: 25 m (80 ft) 障害物なし



FreeSteer ジョイスティックリモコン	
動作温度範囲	−20°C to 60°C (−4°F to 140°F)
保管温度範囲	−40°C to 85°C (−40°F to 185°F)
電源	2x 単三電池
重量 (バッテリーなし)	138.3 g (0.30 lbs)
湿度	66°C (150°F) 95% RH 18 時間
防水等級	IPX7
接続性	Bluetooth® 5.2 範囲 : 25 m (80 ft) 障害物なし

Recon HDI ノーズコーン振動子		
動作温度範囲	−15°C to 55°C (5°F to 131°F)	
保管温度範囲	−30°C to 70°C (−22°F to 158°F)	
ソナー出力	2Dソナー, ダウン 温度	
周波数	2Dソナー: 200 kHz 高 CHIRP 83 kHz 中 CHIRP	ダウンスキャン 455 kHz 800 kHz
最大深度*	2Dソナー : 305 m (1000 ft) at 200 kHz High CHIRP	ダウンスキャン: 91 m (298 ft) at 455 kHz
コネクター	ミニ9-pin (ミニ 9-pin → 9-pinアダプター付き)	

*最大深度は、振動子が接続されている機器の出力パワーによって異なる場合があります。

→注記 : その他の対応するアクセサリノーズコーンの仕様については、製品に付属の仕様書を参照してください。



